学校番号	105

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新　文学国語」　（三省堂）						
副教材等	アシスト常用漢字（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文学的な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、自らのものの見方、感じ方、考え方を深め、総合的な国語力をはぐくむことを目指します。
多様な解釈の可能性を知り、自らの感性を磨き、深く共感したり豊かに想像したりすることを楽しみ、力を育てましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。
【思考力、判断力、表現力等】
思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨く。
【学びに向かう力、人間性等】
進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、我が国の言語文化の特質についても理解している。また文体の特徴や修辞などの表現技法について、体系的に理解し使っている。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、五感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めており、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 ・「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。また、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。	・筆者・作者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。 ・登場人物の描写や語り手の役割について考えを深め、作品を読み味わおうとしている。 ・自らの体験をとおして感じたことを、読み手に伝えることをふまえて書こうとしている。 ・情景描写の表現を工夫して、読み手に伝えることをふまえて文章を書こうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1   <

	●叙述から心情を想像する ［教材］ 「こころ」	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]:文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c:作品の構成や表現に興味をもち、寓意的な意味をとらえようとしている。	観察 ノート 定期考査 ワークシート	観察 ノート 定期考査 ワークシート	観察 ノート 定期考査 ワークシート
	●時代を超えた心情に迫る ［教材］ 「たけくらべ」	a:文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:作者のものの見方をとおして、日本の言語文化の特徴について考えを深めようとしている。	観察 ノート 定期考査 ワークシート	観察 ノート 定期考査 ワークシート	観察 ノート 定期考査 ワークシート
	［教材］	a: b[　　]: c:			
	［教材］	a: b[　　]: c:			

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　５０　）時間